

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		職員が定着してきており安定した勤務状況となったため人材育成や職場環境の整備に力を入れていきたい	①職員の認知症を含めた介護技術と知識を向上していくスキルアップ ②当施設にて経験を積んだ職員には、能力に応じた職の起用や給与に反映する ③職員の希望や要望を管理職、経営陣が可能な範囲で受け止め現場に生かす	①-1内部・外部研修の参加 ①-2カンファレンスや事例検討会開催 ②-1勤続年数による評価 ②-2勤務実績・態度の評価 ②-3研修・資格取得による評価 ③-1目安箱の設置 ③-2意見交換会の開催 ③-3職員の職場環境アンケート等実施	12ヶ月
2		大震災発生時の契約利用者・家族と、施設または地域との連携強化をすること	①利用者・家族・職員安否確認の徹底 ②職員確保と配置による業務遂行 ③計画停電・食材備蓄・衛生用品等の準備 ④町会との連携	①-1連絡先・連絡先順番の確認 ①-2連絡方法(電話・メール・訪問等) ②-1出勤職員と出勤可能職員調整 ②-2ユニット合同体制 ②-3宿直・夜勤体制の強化 ③-1夜間時や夏冬時の電力確保 ③-2丸2日3食分食材確保 ③-3緊急用の衛生用品確保 ④-1 緊急避難場所確認 ④-2合同避難訓練	12ヶ月
3		ご利用者ご家族が納得できる終末期を、可能な限り事業所で送りたいという要望があった際に、ターミナルケアを提供できるように業務体制をご家族・医療機関・事業所と職員で継続していけるようにする	①要望に沿った柔軟な計画を立て、事業所での終末期を迎えられる環境をご家族と一緒に考えてみる ②緊急時の医療機関等への連携を強化できるようにする ③事業所と職員が終末期の介護を取り組めるよう技術と知識を向上していく	①-1ご家族との話し合いによる介護計画の作成①-2介護計画の実践 ②-1緊急時主治医や他の医療機関の連携の依頼②-2ご家族との協働 ③-1外部・内部研修の参加③-2カンファレンスや事例検討会開催	12ヶ月
4		「寄り添う介護」の目標は、職員自身が認知症介護を日々業務として取り組まなければならない、その場や状況での考え把握する力と実践に移す能力や行動力の、資質を向上していき、ご利用者と向き合っていきたい	①専門職員としての意識や技術の向上②日々の業務(生活の中)から、気づきや観察結果等の情報共有の徹底③理念に沿った対応を心掛ける	①-1外部・内部研修の参加①-2個人的感情でなく、全体の目線で利用者に関わる ②-1申し送りやケース記録での情報発信②-2日々情報交換を継続する ②-3気づいたらメモに残す ③-1観察から見極め実践に移す ③-2毎日外の空気を吸いこでかけよう!	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。